

ならちゅうしん経営研究会  
定例総会及び第 355 回例会報告

日 時	令和 4 年 8 月 8 日 (月)				
開催場所	THE KASHIHARA				
内 容	第 1 部	総 会	15:00	～	15:40 (浄御原・明日香の間)
	第 2 部	基調講演	16:00	～	17:55 (八重の間)
	第 3 部	懇親会	18:10	～	20:00 (藤原の間)

基調講演 講 師 クリエイティブディレクター  
銭谷 明夫氏  
演 題 「ブランディングと経営」

今年度は、3年ぶりにならちゅうしん経営研究会総会を、THE KASHIHARAにて開催致しました。

(第 1 部) 令和 4 年度定例総会

第 1 部総会では、上田喜寛会長よりのご挨拶の後、恒例に従いまして会長が議長を務め、議事を進行頂きました。第 1 号議案の令和 3 年度活動報告および令和 3 年度収支決算、剰余金処分(案)並びに監査報告について承認を受けました。続きまして第 2 号議案の令和 4 年度活動計画(案)および令和 4 年度収支予算(案)が審議され、全会一致で承認されました。

(第 2 部) 基調講演

第 2 部基調講演は、クリエイティブディレクターの銭谷明夫氏をお迎えし、「ブランディングと経営」という演題でご講演を頂きました。

銭谷先生は、広告会社のクリエイティブディレクターとして、30年以上多くの企業や自治体の広告コミュニケーション業務に従事され、事業や商品・サービスの「言いたい」ことを、効果的に「伝える」強い「コンセプトづくり」から、効果的な「広告づくり」により、さまざまな課題解決の実績をお持ちです。

「ブランディング」で最も大切なことはコンセプトの在り方で「ことばをデザイン」すること、「ことばで握る」ことから始まります。「鯛」や大手企業の有名ブランドを事例に受け手の課題を解決するコンセプトとなる「ことば」の定義について解かりやすく解説頂きました。受け手のところという脳の中に「自ブランドの領域を確保」することがブランディングで、企業の理念/ビジョンから導き出される中核のある概念たる CONCEPT が経営者、社員、お客様、社会と共有されることで強力なブランディング

となるとのことで、理念経営が重要であるとのお話でした。

最後に銭谷先生が大切にされている「ことば」として、“考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる。”を紹介頂きました。

銭谷先生のお話は、ブランディングと経営について、豊富な実務経験に基づいた説得力のあるお話で、参加された方、全員が、真剣に聞き入っておられ、学ぶことの多いセミナーとなりました。



クリエイティブディレクター 銭谷 明夫氏（基調講演）

### （第3部）懇親会

第3部懇親会では、まず冒頭に上田会長よりご挨拶を頂き、続いて山田代表世話人の乾杯にて宴が開かれました。

今回の総会懇親会では、出席会員お一人ずつより、各会社の事業の近況などをお話し頂きました。コロナ禍における夫々の業種での現状、そして自社での取組などをお話し頂き会員相互に大変参考になったかと思えます。最後に、芳仲敏典副会長より中締めのご挨拶を頂き、懇親会は盛大のうちにお開きとなりました。



上田喜寛会長（懇親会ご挨拶）



芳仲敏典副会長（懇親会中締めご挨拶）

会員企業近況報告

